

聖なる毛

邪悪なる毛



邪悪なちんぽが勝った場合

ククク…

こんなとこまで  
単身突入してくるとは  
見上げた根性だが…

少々実力が伴って  
いなかったようだな

魔法戦士  
リリン

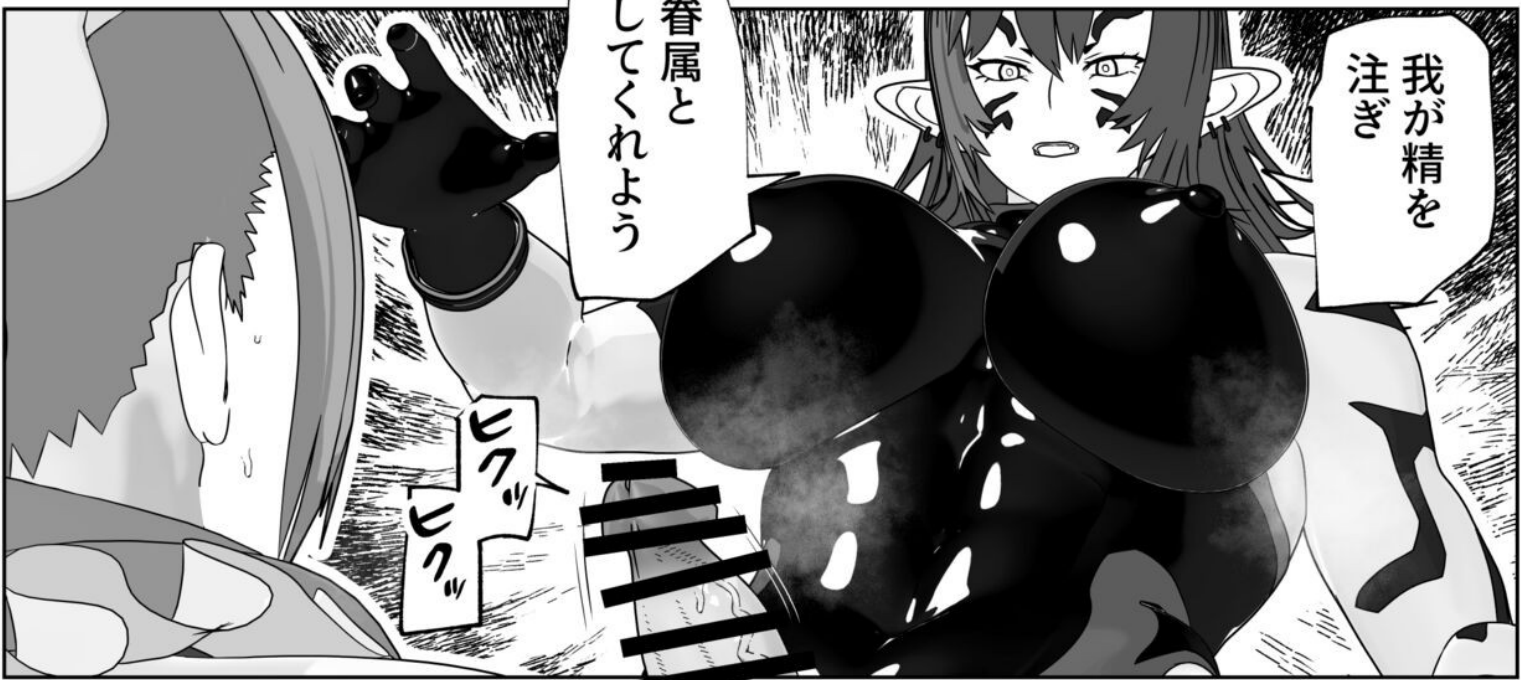
魔王  
ジュレラ

しかし、  
殺してしまうには  
惜しい

こんなにも  
強大な魔力を  
持っていたなんて…!!

グ  
ッ





歯を立てたところで  
我が強靱なる魔羅に  
傷ひとつつかぬぞ



クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

ほお?

ゲホ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

クッ

グッ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

ズッ

ヒャ

ヒャ

ヒャ

あなたのような  
邪悪なおちんぽと  
一緒にしないで！

貴様も「根」を  
持つ者か

同族のような  
ものだな

変わらぬよ、  
貴様のここも欲と  
煩惱の源でしかない

ち、違う！  
これは…

♡  
♡  
♡

このような状況で  
無様に血潮を  
漲らせておるぞ

あなたに対して  
おちんぽが  
怒ってるの！

ぐんっ  
ぐんっ



だとして、  
貴様には怒りを  
ぶつける穴はない…

なにを  
されようと…  
負けないっ…!!



せいぜい  
足掻が良い

ハッ

ハッ

ズッ

ハッ

ズッ









ビュッ

ブッ

ビュッ

ブッ!

ビュッ

は!

ならば効率良く  
いこうではないか

ブッ

ブッ!

ブッ

ブッ

ブッ

は!

ブッ

やはり種汁を  
出すことで  
消耗している  
ようだな



三人に増えた  
から……って……!!

強がるな  
すでに貴様は  
我が手中

れろ♡  
れろ♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

△

|||

グキョッ

グキョッ

♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

♡チキチキ♡  
♡チキチキ♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡







もはや貴様には  
加護の力は  
残っていない

ゆっ

たま...がれ?

仕上げに  
玉枯れの  
呪をかけてやる

アッ

アッ



おお〜

おお〜

ブズ

おお!

おお!

おお!





生まれ  
変わるが良い

優秀な下僕として  
可愛がってやろう  
ではないか…

は…

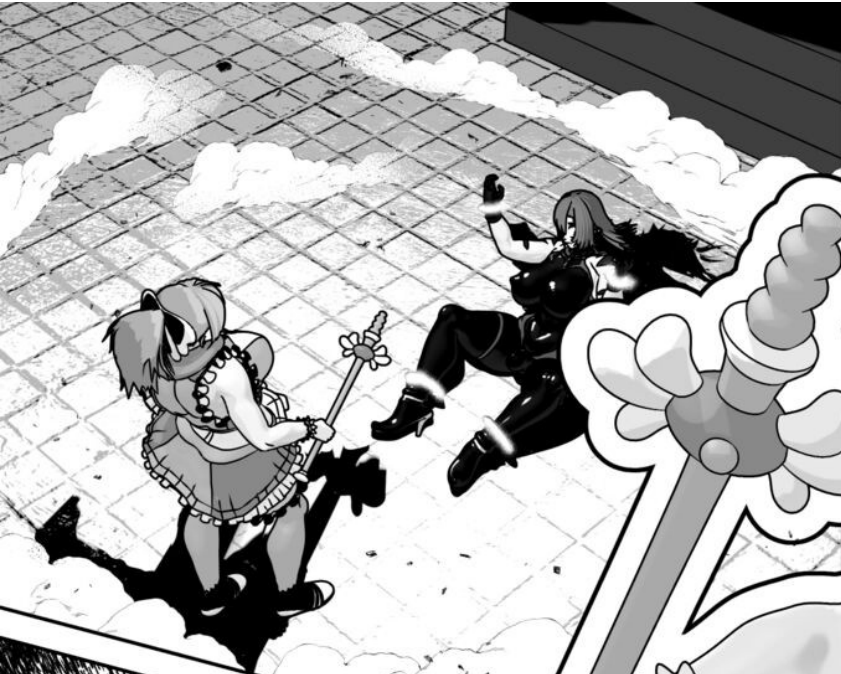
は…

ムク

ムク

は…

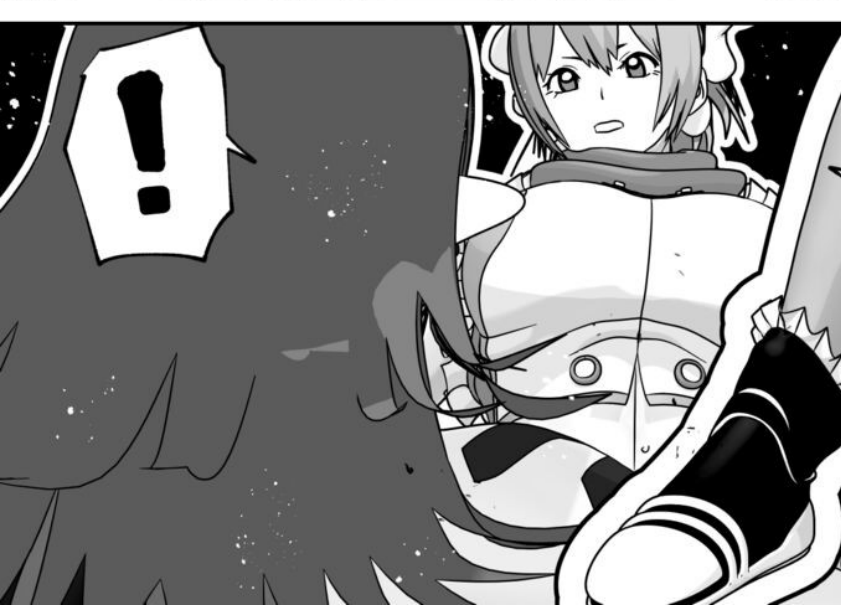
聖なるちんぽが勝った場合



私のこと甘く  
見てたわね



ば、馬鹿な…  
これほどまでの  
力を…なぜ…



あなたを  
浄化するわ！



貴様も「根」を…  
それが我が力に  
対抗できた  
道理か…!!

ギン  
ギン



くっ…!!

ビキ  
ビキ



その邪悪な力の源…  
露わにしなさい!





ブン

ハ

光の  
オナホールよ!

ア

ハ

ク  
ラ  
ラ

ハ  
ハ  
ハ

ハ  
ハ  
ハ

ハ  
ハ  
ハ

ハ  
ハ  
ハ

ハ  
ハ  
ハ



小出しにしているも  
すぐに邪液の生産が  
追いつくことは  
わかってるの

溜めて溜めて  
一撃で空にする！

これからが  
本番よ

貴…様アツ…！

は…！

は…！

は…！

は…！

は…！  
は…！







さらにペースを  
上げる!







ほらすごい  
声上げてる

グッ

グッ

ただの  
マゾおばさん  
じゃない

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ





濁りきった  
ドロッドロの  
欲望の膿を

綺麗さっぱり  
吐き出し  
なさいっ！

？

♡

♡

♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ





全く…こんなにも溜め込んで…

ド  
ロ  
オ

正しき  
おちんぽとして  
生まれ変わりなさい

世から悪しき  
おちんぽがなくなる  
その日まで…!!

ふー…

ふー…

ふー…

ふー…

ふー…

ふー…

おちんぽ